

## 令和7年度 第3回 経営協議会報

日 時 令和8年1月15日(木) 13:30~15:20

場 所 本部棟4階 第一会議室 (Teams によるオンライン併用)

令和7年度第2回経営協議会議事要旨(案)および、10月書面会議議事要旨(案)について確認があり、了承された。

### 審 議 事 項

#### (1) 第4期中期目標・中期計画の変更について

福治理事から、資料に基づき提案説明があった。  
学外委員との間で以下のような質疑応答があった。

- 地域枠の対象範囲(出身要件)について、沖縄県出身者限定なのか、居住要件での判定なのかを確認したい。  
→地域枠の受験資格は出身ではなく居住地によって定めている。小学校・中学校以降に沖縄県へ転入した場合でも、要件を満たせば受験資格がある。
- 臨時定員継続の趣旨である医師の地域偏在解消に対し、地域枠の運用は適切に機能しているか。  
→地域偏在対策として一定の効果は現れているが、地域枠卒業生には初期・後期研修を終えていない者もあり、今後段階的に改善が進む見込みである。地域偏在は当該施策で相当程度の改善が期待される一方、診療科偏在(例:外科系の不足)は課題として残っており、教育システム見直し等を含めた対応が必要だと考えている。

審議の結果、原案のとおり了承された。

#### (2) 令和8年度学内予算の編成方針について

島居理事から、資料に基づき提案説明があった。  
学外委員との間で以下のような質疑応答があった。

- 令和8年度の運営費交付金はプラスとなる見込みであるが、大学全体としてどのように捉えているか。  
→国全体で増額となっており、配分された予算名目は基礎研究充実や基盤的設備更新であるが、大学で柔軟な運用が可能な性格を持つため、有効に活用できるよう、予算編成していく方針である。
- 本協議会において、中長期の財務課題に関する議論や情報が不足しているように思われる。具体的には、①借入金返済のリスク管理、②病院の経営改善、③外部資金戦略と収益多様化、④人件費の構造改革の4つの要素を方針に組み込みつつ、中長期の重点対策分野として本協議会で議論することが妥当ではないか。  
→指摘された点は学内で議論を進めているところである。今後は、学外委員が求める情報の内容を考慮し、経営の改善が図れるような工夫をしていきたい。各質問に対して、①借入金については、返済計画を策定し、本協議会で了承の上で実行しているところ。今後は学外委員にも状況を説明しながら進めていきたい。シナリオ分析は未整備であるため、今後の検討課題とする。上原キャンパス跡地利用については、コンサルを導入予定であり、具体的な計画等は適宜本協議会へ報告する。②今期の病院収益は増加する見込みである。沖縄の人口動態を踏まえ、重症系病床の稼働を増やす、AIによる手術室管理を進める、地域病院との連携を深める等により、大学病院の集客と地域における役割を明確化し運営していく。③外部資金獲得は、教員の研究時間確保が最大の課題である中、研究力維持・向上のため、分野を超えた連携プロジェクトの推進、若手への共同研究支援、地方自治体との共同事業、OISTとの組織的連携強化等、多様な工夫を行っている。少数の研究支援人材で多数の教員をサポートする現状

は課題であるものの、連携・工夫により対応している。④本学は他大学と比べ人件費率が高い状況であるため、見直しを進めつつ、次期ポスト戦略の検討も進めていく。RX では部局起点の業務改善に対する表彰等を行っており、今後、一層の発展を図っていきたいと考えている。

審議の結果、原案のとおり了承された。

## 報 告 事 項

- (1) 令和8年度政府予算案及び令和7年度補正予算について  
島居理事から、資料に基づき報告があった。
- (2) 一般職の職員の給与に関する法律の改正について  
島居理事から、資料に基づき報告があった。
- (3) 令和7年度司法試験の結果について  
矢野法務研究科長から、資料に基づき報告があった。